

本時のねらい・評価基準

・本単元は「現在進行形を活用し、状況を説明する」ことを目標としている。メール（アメリカの中学校生活）に添付されている写真について、自分のことばで伝えることができることをねらいとする。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・タブレットを用いてメールや写真について自分なりにスライドにまとめたあと、相手を意識して「スライドをどのように見せれば自分の言いたいことが伝わるのか」について考えながらメモとして活用する力を端末の活用におけるねらいとする。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・発表ノート（SKYMENU Cloud）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (8分)	1. 挨拶 本時のめあて「メールの内容を相手に伝えることができる」 2. 歌、チャッツ	
展開 (40分)	3. 内容確認【写真1】 ・メール内容を読み要点を捉え、教科書本文の写真やいくつかの英単語を用いながらスライドを作成する。そのスライドを相手に見せながら、相手に写真の状況説明をする。その際、スライドは自分のメモとしても使用する。 【写真2】【写真3】 4. 実際に相手に伝わるように発表し合い、ピア・フィードバックしたり中間指導を受けたりして自己調整する。	・スクリーンに映し出したピクチャーカードを用いて、内容を確認する。 ・タブレットを使用し、相手への見せ方を意識しながら写真なども入れて自分なりに工夫する。 ・写真を撮るなどして、簡単に友だちのよいところを取り入れることができる。
まとめ (2分)	5. 振り返り	

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】本時の学習課題について説明（知識の確認）



【写真2】説明するための資料の作成



【写真3】フリーイラストを資料集として生徒に配付

児童生徒の反応や変容

文章を要約し、相手に伝えるということは、日本語では簡単かもしれないが、英語になるだけで生徒にとって非常にハードルの高いものとなる。相手に情報を伝えるために、短いメモを見せたり、イラストを見せたりと視覚情報も駆使することで、より相手に伝わりやすくなる。生徒はそのことを実感し、安心してペアや仲間に発表を行うことができていた。この安心感は、たとえば言葉がたどたくでも、まずは伝えてみようという生徒のチャレンジ精神を引き出していた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

物事について相手へ説明する際には、視覚的な補助（図や表、色など）を用いることによって伝わりやすくなる。本時の扱う単元は現在進行形であるため、状況説明を目標とした。写真やいくつかの英単語を用いて説明するとビジュアル的にも相手に伝わりやすく、ICTを活用することで、情報活用能力の育成も図ることができる。自分の言いたいことをどうすれば相手にわかりやすく伝えることができるのか、考えさせながらスライドを作成させたい。